

事業番号	02 08 13	事業改善シート (25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	「国際青少年交流農村宣言」推進事業				担当課	部局	企画振興部 観光部	
						課・室	地域振興課 国際観光推進室	
総合5か年計画	プロジェクト	2-2-6 農山村産業クラスター形成プロジェクト			E-mail	shinko@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	2-1 魅力ある地域の創造と発信			実施期間	H24 ~		
		5 移住・交流の推進						

1 事業の概要

目指す姿	「国際青少年交流農村宣言」(H24.4月)の普及を図り、市町村や地域と一体となって、農村交流の拡大や県内への学習旅行の誘致を促進する。		
現状	○国内外の青少年の交流の場となる「世界一の青少年交流農村づくり」を目指すため、平成23年10月「国際青少年交流農村宣言」を発表し、平成24年4月に、宣言の具体化をはかるためアクションプランを策定した。 ○農村体験・農村交流に関する旅行商品販売数 6商品(平成24年度) ○訪日教育旅行受入団体数 99団体(平成24年度)		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 県が市町村、民間団体と連携して、広域的な取り組みを展開することが、効果的な事業である。	
	県民との協働による実施：可能		

事業内容	① 成果目標(H25)				
	○農村体験・農村交流に関する旅行商品販売数 10商品 ○訪日教育旅行受入団体数 110団体				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H25事業実績		
			H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)
国際青少年交流農村づくりの推進	直接一部負担金	・国際青少年交流農村づくり推進会議及びワークショップの開催(1回) ・農村ツーリズムセミナー・商談会(1回)の開催	1,189	1,031	1,209
訪日教育旅行受入体制の整備・強化	直接	・訪日教育旅行セミナーの開催 ・訪日教育旅行受入支援会議、地域受入推進会議の開催	112	112	153
		合計	1,301	1,143	1,362

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越			0	
	当初予算		994	1,301	1,362
	補正予算			0	
	合計(A)	0	994	1,301	1,362
	国庫支出金			0	
	県債			0	
	その他(繰入金)			556	
	一般財源	0	994	745	1,362
	決算額(B)			1,143	
概算職員数(人)		1.00	1.00	1.00	
概算人件費	0	8,258	8,258	8,258	
概算事業費(B(A)+C)	0	9,252	9,401	9,620	

項目	成果目標の達成状況				
	H24末(実績)	H25			H26 目標
		目標	成果	達成状況	
農村体験にかかわる旅行商品数	6	10	14	達成	15
訪日教育旅行受入団体数	99	110	122	達成	120

目標に対する成果の状況	農村体験のメニュー提供者、旅行会社、宿泊事業者等を対象とした農村ツーリズムセミナー、商談会を開催し、農村ツーリズムの普及・推進が図られた。また、訪日教育旅行については、海外プロモーション等の取り組みの結果、目標以上の数の団体を受け入れることができた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 引き続き市町村、関係団体と連携を図りながら、平成24年4月に策定した「国際青少年交流農村宣言」のアクションプランの取り組みにより、目標の具体化、特に農村ツーリズムの普及、農村体験の旅行商品化を図る。また、訪日教育旅行については、学校交流における県内高校の受入がほぼ限界に達していることから、①市町村等と連携し、高校だけでなく、中小学校の訪問を増やす、②学校交流だけでなく、地域も巻き込んだ形での新たな交流の在り方を模索する、③台湾以外の国からの訪問を増やす等の取り組みを行ってきたい。
--------------------	---